

Associations between healthy lifestyle behaviors and proteinuria and the estimated glomerular filtration rate (eGFR)

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2013-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 藤林, 和俊 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001330

順天堂大学 博士(医学)

氏名 藤林 和俊

論文題名 Associations between healthy lifestyle behaviors and proteinuria and the estimated glomerular filtration rate (eGFR)

(健康的な生活習慣と蛋白尿・推算糸球体濾過量の関係)

論文内容の要旨

目的：

生活習慣と蛋白尿・推算糸球体濾過量 (eGFR) の関係をそれぞれ調査する。

緒言：

一般に不健康な生活習慣は慢性腎臓病 (CKD) の危険因子とされている。しかしながら喫煙と eGFR 上昇が示唆された逆説的な先行研究があるなど、不健康な生活習慣と CKD の関係には不明瞭な点もある。また蛋白尿の存在と eGFR 低下は共に CKD の評価項目だが、生活習慣と蛋白尿・eGFR の関係について、それぞれ調査した報告は殆どない。

方法：

2006年5月から2010年8月までに、NTT 東日本関東病院人間ドックを受診した25,493人の中年受診者を対象に行われた断面研究である。

血清と尿検体は早朝空腹時に各参加者から採取し、生化学的に分析した。

eGFR は日本人 GFR 推算式： $194 \times \text{血清クレアチニン (mg/dl)}^{-1.094} \times \text{年齢 (歳)}^{-0.287}$ (×0.739：女性) を使用して計算した。そして60ml/分/1.73m²未満のeGFRを低eGFRと定義した。

尿検査結果は (−) (±) (1+) (2+) (3+) に分類した。このうち (−) (±) を正常、それ以外の全ての結果を蛋白尿と定義した。

参加者の生活様式習慣は、自記式アンケートを使用して評価した。

不健康な生活様式習慣は "ブレスローの7つの健康習慣" を参考にし、以下の通りに定義した：(1) 肥満：BMI 25kg/m² 以上 (2) 現在と過去における喫煙 (3) 不規則な食事：1日に3回以外の食事 (4) 睡眠不足：5時間未満の睡眠 (5) 運動不足：週に1回未満の運動 (6) 習慣飲酒：週に1回以上の飲酒

不健康な生活習慣に対する低eGFRと蛋白尿のそれぞれの関係は、多変量解析を使用して評価した。

結果：

年齢や性別・代謝パラメーターで調整後も、以下の不健康な生活習慣は蛋白尿の有意な独立した危険因子だった [肥満 (オッズ比 (OR) : 1.18, 95% C.I) : 1.04-1.34), 喫煙 (OR : 1.26, 95% C.I: 1.11-1.42), 不規則な食事 (OR : 1.40, 95% C.I: 1.22-1.61), 睡眠不足 (OR : 1.38, 95% C.I: 1.15-1.65), 運動不足 (OR : 1.18, 95% C.I: 1.05-1.33)]。

対照的に、以下の不健康な生活習慣は低eGFRの明らかな危険因子ではなかった [肥

満 (OR : 1.05, 95% C.I : 0.95-1.17) , 喫煙 (OR : 0.76, 95% C.I : 0.69-0.84) , 不規則な食事 (OR : 0.91, 95% C.I : 0.79-1.04) , 睡眠不足 (OR : 1.02, 95% C.I : 0.85-1.22) , 運動不足 (OR : 0.91 (95% C.I) : -0.99)] 。

結論 :

今回の断面調査では, 不健康な生活習慣と蛋白尿の存在との関係が示唆された。

蛋白尿を伴う CKD 患者の管理の際には不健康な生活習慣の存在にも注意する必要がある。